

草津市教育委員会会議録

平成25年10月定例会

(10月29日開催)

草津市教育委員会

出席委員	委員長	馬場輝代
	委員	村山美智子
	委員	麻植美弥子
	委員	谷川尚己
	教育長	三木逸郎

議事参与	教育部長	加藤幹彦
	教育部副部長（総括）	小寺繁隆
	教育施設整備室長	吉川寛
	教育部副部長（学校給食担当）	梅原正雄
	教育部副部長（街道交流担当）	八杉淳
	教育部副部長（学校教育担当）	清水康行
	教育総務課長	山本美佐子
	生涯学習課長	堀田智恵子
	スポーツ保健課長	高岡良秀
	文化財保護課長	谷口智樹
	図書館長	今井知春
	学校教育課長	糠塚一彦

事務局	教育総務課主事	岩本宏幸
-----	---------	------

開会 午後 2時30分

馬場委員長

それでは、ただいまより草津市教育委員会10月定例会を開会いたします。

—————日程第1—————

馬場委員長

日程第1、「会期の決定について」であります。本日1日限りとしたいと思いますが、御異議ございませんか。

各委員

— 異議なし —

馬場委員長

異議がないようですので、10月定例会は本日1日限りといたします。

—————日程第2—————

馬場委員長

次に、日程第2、「9月定例会および10月臨時会会議録の承認について」であります。あらかじめ事務局から配付され、熟読されていると思いますが、御異議ございませんか。

各委員

— 異議なし —

馬場委員長

異議がないようですので、9月定例会および10月臨時会会議録は承認されたものと認めます。

なお、9月定例会会議録の署名委員には、私と村山委員が指名されておりますが、会議規則上、委員長は別に署名をすることから、9月定例会会議録の署名委員には、村山委員と麻植委員を改めて指名いたしますので、後ほど署名をお願いいたします。

そして、10月臨時会の署名につきましては、当初の指名どおり、村山委員と麻植委員をお願いいたします。

—————日程第3—————

馬場委員長

次に、日程第3、「10月定例会会議録署名委員の指名について」であります。教育委員会会議規則第20条第2項の規定により、私から指名いたします。

麻植委員と谷川委員をお願いいたします。

—————日程第4—————

馬場委員長

次に、日程第4、「教育長報告」をお願いいたします。

教育長

皆様、こんにちは。本日は谷川尚己さんが教育委員に就任されて、初めての定例会です。谷川委員は草津市の小・中学校で教鞭をとられ、草津市教育委員会事務局保健体育課長や滋賀県体育協会スポーツ普及担当次長などを経て、現在は、びわこ成蹊スポーツ大学スポーツ学部准教授をされています。教育・研究ならびにスポーツ分野の専門家が加わることで、草津市教育委員会の活動がさらに広がるものと期待されています。

9月25日に開催された教育委員会で、小西明委員長が定例会に出席するのが最後ということで、以下のような挨拶をされました。

「この先は、草津の教育行政を担っておられる皆様方が、草津の教育についての事業をますます発展させていただきますようお願い申し上げ、期待をして見守りたいと思います。そして、私自身は年をとりましても、希望と夢、目的を持ち続け、一日一日が、『今日が一番よかった。今日が一番値打ちのある日だ。』と思えるような生活を送ってまいりたいと思います。どうかこれからも今までと変わりませず、親しくおつき合いくだされれば幸いです。皆様方の御多幸と御健康をお祈り申し上げまして、挨拶といたします。」と締めくくられました。

御承知のとおり小西さんは、「委員長ミーティング」を発案され、教育の現場で働く教職員との交流を大切にされました。教科書採択と関わる教育委員会の会議を公開することについて、6市の教育委員長、教育長、保護者代表で構成する第二採択地区協議会で、小西さんが草津市の考えを明快に述べられたこともあり、6市の委員全員が一致して会議の公開に同意されました。そのシーンは今も印象に残っています。

昨夜は、橋川渉市長と中島一廣議長をお招きし、教育委員や学校長、事務局幹部が出席した歓送迎会で、久しぶりに元気な「小西節」をお聞きしました。小西さんには草津の教育の応援団長として、いつまでも頑張っていたいただきたいと思います。

10月12日、橋川渉市長から谷川尚己委員への辞令交付の後、教育委員会臨時会が開催され、委員長に馬場輝代委員、委員長職務代理者に村山美智子委員が選出されました。

教育委員会の活動や制度が注目されている中、草津市は基本理念である「子どもが輝く教育のまち 出会いと学びのまち」の実現を目指し、馬場委員長を先頭に一丸となって取り組みたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

9月28・29日の両日、しが県民芸術創造館で、「第52回草津市民文化祭」が開催され、延べ1,200人が参加しました。芸能部門は邦楽、民謡、日本舞踊、能楽謡曲、詩吟、ハワイアンフラ、マジック、カラオケなどの発表があり、展示部門では俳句、華道、トールペイント、写真、能面、ガラスアートの各作品が展示されました。

今年度は、姉妹都市である観音寺市文化協会の会長以下30人の皆様が、謡曲や日本舞踊、民謡などを発表していただきました。草津市と観音寺市は、昭和57年に姉妹都市提携を結び、文化協会同士の交流は平成7年から行われています。観音寺市の人口は6万3,340人で、文化協会には87団体、1,974人が加盟しています。文化協会の佐川守一会長が会場に到着されての第一声は、「まるで親戚の家に来たようだ」でした。両市の友好と文化交流が、いつまでも続くことを願っています。

今年は、秋に入っても暑い日が続き、「秋バテ」という言葉がぴったりの気候でしたが、学校では練習を含め、子どもたちの健康に留意しながら、運動会・体育祭を成功させました。創意工夫したプログラムを実行したことで、保護者や地域の皆様が、子どもたちと感動を共有することができました。

ここでは、志津小学校と高穂中学校の取組を御紹介します。

10月6日、志津小学校で立命館大学のラグビー部員10人と児童27人による綱引きが行われました。翌日の中日新聞と京都新聞に、「がんばれ立命 頑張れ志津小」「真剣互角勝負にエールも」「児童 綱引きで学生に挑戦」という見出しの記事と写真が掲載されました。志津小と立命館の初めての綱引き合戦は、子どもたちだけでなく保護者や地域の皆様の声援を受け大いに盛り上がりました。試合前、「負けたら関西大学ラグビーAリーグの出場権を志津小学校に譲ります」と挨拶した庭井祐輔主将は、「途中、助っ人が多すぎて焦った。絶対に負けたくないと思い、手加減なしで挑んだ」とコメントしています。彼らが関西や全日本で活躍し、子どもたちに元気と夢を与えてほしいと思いました。

9月13日、高穂中学校の体育祭が開催されました。創立30周年を記念したスローガン「全力疾走 Zenryo!Cool!!」をロゴにした八色のカラーTシャ

ツを着た生徒たちが懸命に応援している北川健校長撮影のビデオ映像を見ながら、中学校の体育祭はクラスや学年、また生徒や学校の団結力を高める一大イベントとと思いました。高穂中学校の体育祭で、力いっぱい応援する生徒たちの写真が教育委員会だより「コンパス（11月1日号）」の表紙を飾りますので御覧いただきたいと思います。

10月12日、草津市役所8階の大会議室において、「第58回宗鑑忌俳句大会」が開催されました。俳諧の祖である山崎宗鑑は、1465年に現在の草津市志那町で生まれ、1553年に香川県観音寺市で亡くなったと伝えられています。草津市は宗鑑翁の業績を顕彰しながら、俳句を通じて市民文化を高めようと「俳句のまちづくり」をテーマに取り組んできました。

「兼題の部」の特選四点の中から二点を御紹介します。

①「新涼や青き匂いの新刊書」 西村芳子

選者の北田夏生先生の評「今年の暑さは特別だった。それだけに、待ち焦がれた秋の訪れ。待望の秋が少し感じられる新涼。読書の季節へ。書店に積まれた新刊書に『青き匂い』を感じた作者は流石俳人。新鮮さも伝える好詠みである」。

②「句の人生授かり弛まず宗鑑忌」 小嶋千代

選者の古川光榮先生の評「奇しくも嫁ぎ来られた草津が、宗鑑の生誕の地とあって、俳句が愛好され『俳句の人生を授かり』と作者の喜びの言葉。その後も『弛まず』の言葉。嬉しいね。宗鑑忌の誇りが漲っている佳句である。今後市民の皆様に愛好され、宗鑑忌俳句大会が末永く続くことを祈る」。

9月12日、草津エストピアホテルで開催された「第66回滋賀県民体育大会反省会」に出席しました。秋季と冬季に実施される種目も残っていますが、現在、草津市は総合2位の成績です。種目別では野球、バドミントン、バレーボール、水泳、ソフトボール、ゴルフ、体操、弓道、テニスが優勝しました。昨年のこの時期は大津、彦根に続いて3位でしたが、今年は順位を上げることができました。草津や滋賀のスポーツを飛躍的に発展させるには、7年後の東京オリンピック・パラリンピック、11年後の「びわ湖国体」が内定している今がチャンスの時であります。この分野に造詣が深い谷川委員を講師に、スポーツ行政についての研修ができればと思います。

最後に、秋は文化やスポーツの季節でもあります。教育委員の皆様にはお忙しい中、第52回草津市民文化祭や第51回草津市美術展覧会、同じく第51回青少年美術展覧会、ジュニア・スポーツ・フェスティバル、街道交流館の秋季テーマ展「旅する人びと」やスペシャル授業などを御覧いただきありがとうございました。

加えて、10月24日に朝日新聞に掲載された「草津流『考える力』」とい

う記事についての感想等がございましたら、お聞きできればと思います。

長くなりましたが、以上で教育長報告を終わります。

馬場委員長

ありがとうございました。

続いて、委員の皆様方の中からも御参加いただいた行事等の御感想がございましたらお願いいたします。

村山委員、どうぞ。

村山委員

10月18日に立命館大学クインスタジアムで行われましたジュニア・スポーツ・フェスティバルKUSATSUを見学してまいりました。今回初めて寄せていただきましたが、このように解放感あふれる立派なスタジアムで市内の6年生全員が集えるということは、本当に素晴らしいと思いました。「競う」と「体験」の二本柱というスポーツの良い面を双方から楽しめる構成の中で、市内40学級の対抗となった「競う」の方では、全員での長縄挑戦や選抜の児童によるリレーの応援にも皆さん大変熱が入り、また優勝チームには大学陸上部のリレーチームとの決戦まで行われ、見ているこちらまで手に汗握る迫力満点の対決となりました。「体験」のほうでも、ふだんなかなか接することのない競技を初め、子どもたちはたくさんのスポーツに挑戦して、本当に生き生きと楽しんでいる様子が窺えました。

協力してくださったMIOびわこ滋賀の皆さんや立命館大学の学生の皆さんには本当に感謝しております。特に学生の皆さんは、運営の裏方まで整然とした体制で細かくサポートして下さっており、同時に子どもたちにより近い年齢で一緒に楽しんで下さっている姿がとても印象的でした。学生さんたちの中には、大学のコースの一環として事前に各小学校を訪れて指導するという段階からこの活動に参加して下さっている方々もおられるということで、一方的な協力ではなくお互いのメリットにつながるような関係というのは、継続の1つの鍵でもあると感じました。

このような試みがヒントとなって、様々な他の場面でも新しい試みが展開されればいいのではないかなと思いました。

それから、先ほど教育長からのお話もありましたけれども、10月24日付の朝日新聞では、「草津流『考える力』」という題で、今年度より始まりました子どもの思考力育成事業が大きく取り上げられました。現場の先生方からなる委員会が作成して下さっているプリントを、私も幾つか拝見しましたがけれども、とても細かな工夫が凝らしてあり、こんな問題だったら子どもたちも楽しいだろうなと率直に思いました。単なる計算や暗記ではなく、教科の枠を超えてなぜそうなるのか、あなたはどう思うのかということの問題に絡めて、さ

りげなく子どもに問うておられます。添削には、経験豊富な元教師の先生方がお力を貸してくださっているとのことですので、これは保護者の方々にとっても現場の先生方にとっても、大変心強いことなのではないかと思います。何より子どもたちにとって、一人ひとり考えて出したその答えをきちんと聞いて、丁寧に答えてくれるということは励みになるでしょうし、このような作業の地道な繰り返しは、子どもが本来持っている好奇心をより育ててくれるのではないかと思います。

これを機に、受け身ではなくて、考えて自分で展開する力を子どもたちがもっともっと養えるように、引き続きこの事業には注目してまいりたいと思っております。

以上です。

馬場委員長

ありがとうございました。ほかにご覧いませんか。

麻植委員、どうぞ。

麻植委員

それでは、私もいくつか寄せていただいたものの中で、意見や感想述べさせていただきます。

10月18日のジュニア・スポーツ・フェスティバル、私も寄せていただきました。子どもたちが全校から集まってくるというのは、かつては連合運動会という形でしたので、それと良さを比べながら見学させていただきました。

その中で、急遽一言と言われましたので、7年後の日本で開催されるオリンピック・パラリンピック、そのプレゼンの中でありました「おもてなし」は日本人の心の文化だと私は思いますので、このおもてなしの心について子どもたちにお話をさせていただきました。おもてなしをするためには、相手を思いやる心がなければ、おもてなしの心は生まれてきません。今回はスポーツを通してですが、これははじめの問題であったり、人権の部門にもとても深く関係することかなと思われましたので、このスポーツを通して今回の大会コンセプトの中にもあります仲間と力を合わせ信じ合い、支え合うことが大切、これを肌で感じ取ってほしいなというのをお伝えしました。

そして、村山委員もおっしゃられました、忘れてはならないことは、学校の先生方だけではなく、立命館大学の協力、そしてサービスマニエールの受講生や各部の学生さんたち、これも全て授業も出ずにボランティアで応援してくださっているということで、事前に学校へ行って8の字の長縄跳びの指導もして下さったりしており、身近な年齢のお兄ちゃん、お姉ちゃんたちが子どもたちに寄り添ってくれていることが本当にありがたいなと思われました。

それから、スペシャル授業も10月21日、山田小学校でこれも立命館大学

の理工学部の川村教授が行ってくださいました。ロボットについてお話をしてくださっていたのですが、その中で言葉で印象に残っているのは、「映像の世界は自由だけれども、ロボットは現実で動きます。だから、現実世界をよく勉強する必要があります。」というものです。注意深く観察するということが1つのキーワードですということと、「今までそこにあったものがなくなる時代が来ます。科学と技術の力で皆さんが解決することを願っています。」と結んでおられました。

あと、10月24日、玉川小学校での滋賀県立大学学長の大田教授の授業も見学してまいりました。まず学校の教科書を教授自ら見てくださって、とっても難しいことを現場の先生方が子どもたちに伝えておられるなということをおっしゃっていました。その中で、教科書はどうしても單元ごとに分かれている。子どもたちに單元を超えて、複合的に理解をさせるということが、多分学校の現場の先生方にとって、非常に難しいじゃないかなとおっしゃっており、教える側がそういう複合的な視点を持って授業を進めていくことが大事なのだと思います。各学校で板書の方法など、様々な勉強されている中で、そういうスペシャリストの先生方のアドバイスもあると、また効率のいい研修や自己研鑽ができ、よりよい授業展開ができるのではないかなということを感じました。

あともう1点、草津市の文化祭の件ですが、ここは登録団体だけではなく市民公募の枠も検討してくださっていると聞いております。今、国の大きな方針を受けて、草津市が市をあげて取り組んでいるまちづくり協議会。

現在、学区地区でまちづくり協議会が設立し、記念事業としていろんな取組がされています。今日の新聞記事の中にもいくつかありましたが、これはまさしく草津の教育振興基本計画の基本方針の中の「地域に豊かな学びをつくる」、これを具体的に実現されているものだと思っています。各学区で新しい文化が創られています。歴史を大事にして残していくということも、とても大事なことだと思います。地域と学校でともにつくり上げられた常盤“音”今昔物語、矢倉の記憶絵図、南笠東学区の学区史、「地域のおはなしシリーズ③」をつくられたり、地域の歌が生まれたり等々しています。私は、これらは草津市民の文化のおまつりの草津市民文化祭でその学区・地区民だけではなく、市民の皆様に広く知っていただく意味でも、発表や展示ができたら素晴らしいことではないかなと感じました。

以上です。

ありがとうございました。

谷川委員、お願いします。

馬場委員長

谷川委員

初めて寄せていただいたときに草津市の美術展がありましたので、見させていいただきました。すごく興味は持っているのですが、出展数が300とさすがだなと思いましたのと、書は小学校の書道の授業を教頭時代に持っていたので興味は持っていますが、草書とか、あのようなすばらしい字は書けないので、うらやましく思っで見させてもらいました。

今日はまた、学校の子どもたちの展示が市役所の2階にしてあるということですので、これが終わり次第、見学をさせてもらいたいなと思っております。

あと、草津流の「考える力」ということについて、答えは1つではありません。昨日、私が道は1つではありません、道は百も千も万もあるというようなお話をさせてもらったのですが、まさにそのとおりだと思います。

問題の中身は1枚しか見ておりませんが、結構記述式もあるんですけど簡単に書き入れるところもあるので、添削内容がどうなのかなというのも、もう少し教えていただければありがたいなと思いました。

以前、保健体育課長もしておりましたので、県体2位というのは、いつも彦根と争っていたので、懐かしく思い出したのですが、今日教育長報告でおっしゃったほどの優勝種目はなかったように思います。ですから、点数的には大津に近づいたのかなという思いで聞かせてもらいました。

前回の1巡目の滋賀県での国体のときは18年前に議会が動いています。それで、今回2巡目の国体は12年前になってやっと知事がゴーサインを出して、次の年についた予算は100万円でした。それで、11年になって今後2回目をどうするのかというのは、もう前回の競技場はほぼ使えないので、それも含めてこの11年間でやり遂げることができるのかどうかというのは少し不安があります。オリンピックを盛り上げるために、競技力や施設も含めて草津市でも何がやれるのかというあたりを考えていければよいのかなと思いました。

以上です。

馬場委員長

ありがとうございました。

私の方からも1つ、先日ですが、草津の美術展の表彰式に参列させてもらったのですが、そのときに受賞される皆さん方の真剣な顔を見ながらいろいろ思いつくことがあったり、感じることもありました。

というのは、実は私も何十年も前に市展賞をいただいたことがあって、そのときにいただいた作品はまだ今でも家の玄関に飾ってあるのですが、その作品を見ると、何かいつも心の中に火がぽっとともったような温かい気持ちになれるんです。それで、受賞された人の顔見ながら、もらったものは形としては賞状だけど、きっと帰るときにはすごくいろいろな自信を持って帰られたのだろうなと思って、すごくほのぼのとしたいい気持ちになりました。いいところに参加

させてもらったなと思っています。

それからもう1点、10月19日に老上小学校の職員たちが一生懸命頑張るから、作品を選ぶのを手伝ってほしいと言われたので、土曜日だったのですが出かけました。そうしたら、学級担任はほとんど来ておられまして、びっくりしました。それで、中には若い育メンの先生が背中に赤ちゃんをおんぶひもでくくっておられたりだとか、それから赤ちゃんを前に抱っこした若い女の先生がおられたとかで、自分のクラスの番になったらその赤ちゃんを預けてみんなが一生懸命見ておられるんですよ。それから、中には来られなかった先生のために同じ学年の先生が一生懸命メモされていて、全部伝えますって言うておられました。その中にいながら、この人たちのために自分ができることだったら何でもしてあげようと思いました。そういう姿を、やっぱり年配の先生とか、管理職の先生は見ないといけないなというふうに思いました。

それでは、これで教育長報告については、以上で終わらせていただきます。

—————日程第5—————

馬場委員長

次に日程第5、付議事項「議第44号 草津市立幼稚園・小学校および中学校の就学に関する規則の一部を改正する規則案」を議題といたします。

事務局の説明をお願いいたします。

学校教育課長

次に、「議第44号 草津市立幼稚園・小学校および中学校の就学に関する規則の一部を改正する規則案につき議決を求めることについて」、御説明申し上げます。

議案書の2ページから6ページを御覧ください。

児童生徒が就学すべき小・中学校につきましては、学校教育法施行令に基づき、本市教育委員会が就学校を指定いたしますが、この指定に当たりましては草津市立幼稚園・小学校および中学校の就学に関する規則の別表に従って通学区域を指定しております。このたび、追分町の一部の住所表示が実施されることになりましたことから、3ページの表のとおり該当する住所の表記を変更いたします。

以上、御審議のほどよろしくをお願いいたします。

馬場委員長

ただいまの説明につきまして、何か御意見、御質問はございませんか。

各委員

— 特になし —

馬場委員長

本議案について、何か御異議はございませんか。

各委員

— 異議なし —

馬場委員長

異議もないようですので、議第44号は、原案どおり可決いたします。

次に、「議第45号 平成25年度草津市一般会計補正予算に対する意見を市長に申し出るにつき議決を求めることについて」を議題といたします。

事務局の説明をお願いいたします。

生涯学習課長

「議第45号 平成25年度草津市一般会計補正予算に対する意見を市長に申し出るにつき議決を求めることについて」を、生涯学習課の堀田が御説明させていただきます。

では、10ページをお開きください。

表の右側でございます。草津アマカホールの外壁改修工事につきましては、平成25年6月28日から着手しておりますが、①に書いているとおりタイルの「浮き」が予定していたより広範囲にわたることと、内壁のタイルにつきまして、平成25年8月に建築基準法第12条の3年に1回の定期点検としてホールの内壁の背の届く範囲を打診棒にて調査いたしましたところ、「浮き」と「はらみ」箇所を発見いたしましたので、平成25年9月に改めまして全面的打診調査と6か所の抜き取り調査を実施いたしました。

抜き取り調査の結果、「はらみ」箇所は完全に剥離しているところがありまして、下地から最大17ミリの浮きを確認いたしましたので、平成25年9月27日にはホールを使用停止させていただいたところでございます。

ホールの内壁改修工事の方法につきましては、暫定とするか本格的改修とするかを検討させていただきましたが、本格的改修では音響設計をした上で、壁面を改修することになりまして、工事期間は8か月必要でありますことから、工期が短期間で済み、音響に差異がない状態で貸し館できるため今回は暫定的な改修をしたいと考えております。

予算につきましては、外壁工事の不足額が622万2,000円、内壁工事の不足額が1,054万6,000円でございます。合わせて1,676万8,000円を補正させていただきたく御審議賜りますようよろしくお願いいたします。

馬場委員長

ありがとうございました。

ただいまの説明につきまして、何か御意見、御質問はございませんか。

麻植委員、お願いいたします。

麻植委員

アミカホールは、市内の施設でも貸館利用率が高いと思いますが、利用者へのケアはどのようにされていますでしょうか。

馬場委員長

お願いいたします。

生涯学習課長

生涯学習課の堀田がお答えさせていただきます。

利用者の方につきまして、既に申し込みをされておられます方は9月の時点でまずは連絡させていただきましたのと、その後新しい場所の情報提供をさせていただいたことと、あとは一定の基準に基づきまして保障の部分もさせていただきたいと考えております。

馬場委員長

ありがとうございます。
よろしいでしょうか。

麻植委員

はい。ありがとうございます

馬場委員長

ほかに御意見ございませんか。

各委員

— 特になし —

馬場委員長

意見もないようですので、議第45号については、「意見なし」として市長に回答することといたします。

—————日程第6—————

馬場委員長

それでは日程第6、「報告事項」に入ります。
事務局より報告をお願いいたします。

図書館長

図書館の今井が御報告申しあげます。
去る5月29日に定期監査を受けました。
資料は報告書の2ページから4ページを御覧いただきたいと思います。
検査結果といたしましては、事務の執行状況についてはおおむね適正に処理されており、財産管理についても適正に処理されておりますけれども、一部改

善検討を要する事項が見受けられるとのことでもございました。

具体的には、2点の意見、指摘事項がございました。

1点目は、図書館資料の収集で、県内の住宅地図について、図書館・南草津図書館の両館で全て収集しておりますけれども、共通の収集方針のもと購入範囲や時期を検討されたいと指摘されました。検討の結果、来年度より住宅地図の購入範囲等につきましては、それぞれの館の利用状況を鑑みまして、購入するようにまいりたいと考えております。

2点目の本館の雑誌類の書架の位置につきまして、書架全体の配置を考慮し、利用者にとってより快適な空間となるよう現在検討しているところでございますので、よろしく願い申し上げます。

馬場委員長

ありがとうございます。

どうぞ。

教育総務課長

続きまして、報告事項（2）寄付受入れ報告につきまして、教育総務課山本が御報告申し上げます。

報告書の5ページでございます。

今回御寄付いただきますのは、笠縫東学区教育振興会様から笠縫東小学校に対しまして、デジタルテレビとテレビスタンドを、また常盤学区教育振興会様から常盤幼稚園に対しまして、パワードボイスとエイサー用パーラックをそれぞれ御寄付いただきましたので御報告申し上げます。

以上でございます。

馬場委員長

ただいま2点のことにつきまして報告があったのですが、御質問等はありませんか。

各委員

— 特になし —

馬場委員長

特にないようですので、以上をもちまして本日の議事は終了となりますが、議事以外のほかのことで何かありませんか。

お願いいたします。

学校教育課長

「くさつビブリオバトル2013みなくさの陣」について御説明を申し上げます。お手元にチラシがあると思いますので御覧ください。

11月17日に行われます「みなくさまつり」におきまして、くさつビブリオバトル2013実行委員会主催のもと、「くさつビブリオバトル2013み

なくさの陣」を開催いたします。ビブリオバトルとは、知的書評合戦とも呼ばれ、「人を通して本を知る、本を通して人を知る」をキャッチコピーとして全国に広がっております。当日の午前中は小・中学生の部が行われます。市内小学生・中学生が、今のところ大体15人ずつぐらい申し込みがありますので、参加をいたします。ビブリオバトルの公式ルールにのっとりまして、最終チャンプ本を決定していくということを行います。午後からは、図書館や立命館大学の呼びかけのもと参加者を募り、高校・一般の部、大学生の部もビブリオバトルを行います。また、一度見学に来ていただけましたらと思います。よろしくお願いたします。

馬場委員長

ほかにございませんか。
どうぞ。

学校教育課長

2点目としまして、よろしいでしょうか。

馬場委員長

どうぞ。

学校教育課長

国際理解教育「わくわく異文化交流」の資料がございますので御覧ください。
本事業は、平成23年度から開始した事業で市内全小・中学校に立命館大学BK Cの留学生を派遣して、交流活動を行っているものです。今年の留学生の参加は17名です。各学校に留学生2名を1日ずつ派遣して行います。中には、昨年参加したところ大変よい経験になったので、ぜひ今年も参加をしたいとリピートしてきた学生もおります。現在は、各学校と学生が直接連絡をとり合いながら具体的な活動内容を相談したり、打ち合わせをしたりしながら共同して交流活動の準備をしているところでございます。

実際の交流活動は、今年11月から来年1月にかけて各小・中学校において行われます。子どもたち、教員、学生の三者にとって有益な活動になりますことを期待しているところでございます。

馬場委員長

ありがとうございました。

学校教育課長

続きまして、もう一つよろしいでしょうか。

馬場委員長

お願いたします。

学校教育課長

道德教育の研究大会の御案内がお手元にあると思いますので御覧ください。

平成25年度文部科学省滋賀県教育委員会委託「道德教育の総合支援事業」に係る中間発表について説明させていただきます。

本市では、本年度から2年間、市全体で文部科学省ならびに滋賀県教育委員会からの委託を受けた道德教育総合推進支援事業に取り組んでおります。このたび拠点校であります矢倉小学校と高穂中学校において研究大会を開催いたします。1年目の中間発表であり、研究はまだまだ半ばではありますがお時間が許せば御参加いただきたいと思います。資料の1枚目が矢倉小学校の発表で11月8日でございます。1枚めくっていただきますと、高穂中学校の発表になります。11月15日でございますのでよろしくお願いいたします。

以上でございます。

馬場委員長

ありがとうございました。

お願いいたします。

スポーツ保健課長

スポーツ保健課の高岡でございます。

最後に資料をつけさせていただいているかと思いますが、チャレンジスポーツデーのカラー刷りのチラシでございます。

今年で第11回目になりますチャレンジスポーツデーですが、先だって、10月27日日曜日から始まっておりまして、来月24日日曜日までの開催となります。一般社会法人草津市体育協会の加盟団体や各学区地区の体育振興会などによります、スポーツに対するきっかけづくりの事業として行われているのでございます。教育委員の皆様にはお時間ございましたら、お近くの会場をお訪ねいただきまして様子を御覧いただければと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

馬場委員長

ありがとうございました。他にありませんか。

お願いいたします。

生涯学習課長

続きまして、オレンジ色と黄色とカラー刷りの3枚あると思いますが、まずオレンジ色ですが、「第29回草津市民音楽祭」のチラシとなっております。これは、11月10日の日曜日ですが、しが県民芸術創造館のホールでコーラス、それからいろいろな楽器演奏等がございますし、黄色のチラシにつきましては、草津市青少年育成大会が、これは11月16日土曜日のお昼から開催させていただきます。こちらにつきましては、講師の方が、障害があるにもかかわらず今シンガーソングライターとしていろいろなところを回っておられる方ですので、もしお時間あればまたお願いしたいと思います。次にカラー刷りで

すが、同じ日に「草津市民アートフェスタ2013」を開催させていただきます。こちらにつきましては、くさつ夢本陣や道灌蔵であいの広場で展示発表をさせていただきますと思いますので、お忙しいと思いますがぜひ御参加いただきたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

馬場委員長

ありがとうございました。ほかにはないでしょうか。紹介するものがありましたら。

各委員

— 特になし —

馬場委員長

ではないようですので、これをもちまして、10月定例会を終わらせていただきます。

次回は11月26日（火）午後2時半から定例会を開催する予定ですので、よろしく願いいたします。ありがとうございました。

閉会 午後 3時12分